

交渉結果報告書

市長公室 人事課

交渉内容 平成18年度夏季重点要求交渉
交渉日時 平成18年6月8日(木) 9時10分～10時25分
交渉場所 宇治市職員会館 大会議室
交渉出席者 当局側 平本人事監 塚原市長公室長
谷口参事 寺島課長 宇野主幹 本城係長
組合側 小野執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計12人

| | |
|--------|--|
| 概要 | 宇治市職員労働組合から別紙のとおり「2006年夏季重点要求書」の提出を受けた。 |
| 組合側の主張 | 要求内容は別紙のとおり。 回答は、6月26日までにされたい。 06春闘では、一部大企業がバブル期を上回る利益を上げる一方、中小零細では厳しい状況にあり、2極化が進行するとともに、国民間の格差が広がっている。このような状況の中、宇治市の果たす役割は益々重要となっている。今回の夏季要求にあたり市職労は、地域住民の暮らしを守る自治体労働者として春闘結果を踏まえて要求するものである。 給与構造見直しを導入する際には、機械的な国制度への追随ではなく、宇治市の実態に見合った制度とすべきである。 夏季一時金については、組合員のアンケートを集約した結果2.7ヶ月プラス一律35,000円としている。 |
| 当局の主張 | 要求内容をしっかり検討し回答したい。 |